

## 令和3年白老町議会議会運営委員会会議録

令和3年 7月 1日（木曜日）

開 会 午前 9時59分

閉 会 午前10時30分

---

### ○会議に付した事件

協議事項

1. 令和3年白老町議会定例会7月会議について
  2. 令和3年白老町議会定例会9月会議の予定について
  3. 全員協議会の開催について
  4. 第5次議会改革の検討について
  5. その他
- 

### ○出席委員（6名）

委員長	小西秀延君	副委員長	長谷川かおり君
委員	森哲也君	委員	前田博之君
委員	吉谷一孝君	委員	及川保君
副議長	氏家裕治君		

---

### ○欠席委員（なし）

---

### ○職務のため出席した事務局職員

事務局長	本間力君
主査	八木橋直紀君

---

## ◎開会の宣告

○委員長（小西秀延君） ただいまより議会運営委員会を開会いたします。

（午前 9時59分）

---

○委員長（小西秀延君） 本日の協議事項ですが、1、令和3年白老町議会定例会7月会議について、2、令和3年白老町議会定例会9月会議の予定について、3、全員協議会の開催について、4、第5次議会改革の検討について、そして5、その他でございます。

まず、協議事項1番目の令和3年白老町議会定例会7月会議について、説明を本間事務局長からお願いいたします。

○事務局長（本間 力君） 7月会議の日程ですが、日程第1号といたしまして、7月16日金曜日1日間、それから日程第2号としまして、7月26日月曜日1日間ということでございます。

第1号につきましては、町側のほうから一般会計補正予算、内容につきましては確認しているところでいきますと64歳以下のワクチン接種の取組状況におきまして、医師の確保のめどが立ってきたというところで、極力早めに前倒しをして進めていきたいという意向の中で、医師の町における費用弁償等の補正予算というところが主な内容と伺っております。

また、7月26日につきましては、3、全員協議会の病院関係にも関連しますが、全員協議会の説明したのちの関連予算の補正ということで伺っているところでございます。

○委員長（小西秀延君） ただいま事務局長から説明がありました。7月会議について、2日間という日程になっております。ちょっと不規則的かと思いますが内容が分かれております。日程の関係上このような都合になっております。

これについてご質問ご意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） それでは、定例会7月会議について、このように進めさせていただきたいと思っております。

続きまして、2、令和3年白老町議会9月定例会議の予定について、こちらも本間事務局長から説明をお願いいたします。

○事務局長（本間 力君） 資料1をお開きください。定例会9月会議の日程でございます。昨年の日程等を参考にいたしまして進めさせていただいております。昨年と日程が変更になっているところで申し上げますと、本会議日程が9月7日より10日の4日間で、昨年は3日間で行ってまいりました。議長と先般ご協議をさせていただきまして、6月会議でも行ったところなのですが、一般質問の人数を1日3人ずつというところも考慮を踏まえて、余裕を見て1日を増やしながら対策を講じていくという議長のご意向もございまして、1日追加で多めに見ておき、予備日を踏まえまして決算審査特別委員会3日間、最終日17日という日程で通算でいきますと11日間という日程になるかと思っております。

昨年の一般質問の人数が10名で行ってまいりました。6月会議については9名ということなのですが、人数の状況を見ながら8月26日が一般質問の締め切りとなっておりますので、その状況を踏ま

えまして日程のほうの微調整等は議会運営委員会ほうでお諮りしながら進めていきたいという考えでおります。

○委員長（小西秀延君） 令和3年白老町議会9月定例会議についてご説明がありました。

この件についてご質問ご意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） それでは、このように日程を決めさせていただきます。

3、全員協議会の開催について、説明を本間事務局長からお願いいたします。

○事務局長（本間 力君） （1）白老町過疎地域持続的発展計画の策定についてということで、企画財政課より要請がございます。資料2でございます。

本件に関しましては、法律改正に伴いまして、今まで関連の過疎計画のほうが終了いたす中で、新たに法律改正のもとに計画を策定していくという流れでの説明というふうにお聞きしております。その説明でございます。

そのほかに1件、(2) 町立病院改築事業の実施にあたってということで、政策推進課からでございます。資料3でございます。先般、先週末になりますが、報道でもあったかと思いますが、北海道から津波想定が公表されております。その中での病院改築における津波対応の説明ということでございます。先ほど申したとおり、この事前説明を行った後に、特別委員会、既に終了しておりますが、予定されておりました関連予算を7月26日に上程していきたいという流れで進める予定でございます。全員協議会の日程につきましては、7月16日の定例会7月会議日程第1号の終了した後に、(1) 白老町過疎地域持続的発展計画の策定についての説明、それが終わり次第(2) 町立病院改築事業の実施にあたってというところで全員協議会を予定させていただきたいと思っております。

○委員長（小西秀延君） 説明が終わりました。

質問については、(1)、(2)、両方承りますが、どちらか指定をした上で発言願います。

ご質問ある方いらっしゃいますか。

氏家副議長。

○副議長（氏家裕治君） (2) 町立病院改築事業の実施にあたって、7月に上程される補正予算の、これは今回の津波対策を盛り込んだ計画、今の場所で計画を見直したときの改築予算についての説明なのかそれだけ確認します。

○委員長（小西秀延君） 本間事務局長。

○事務局長（本間 力君） 最終的な方向性というものは、申し訳ないのですが確認はできておりません。今週に入りまして、聞いているところによりますと、理事者協議等も行っておりまして、焦点としましては今の津波想定で変更になった部分の構造をどう扱うかと、場所を変えるということまでは考えていない前提で構造をどうするかという検討とそれに伴う予算。それに予算も伴うということで、さらには、それぞれの改築計画から病院の経営改善計画のほうの変更が想定されるということで、最終的にはその内容を踏まえてどれに影響するかという、今整理段階だと思いますが、当初来週の全員協議会という予定を踏まえて16日の日程にということだったので、検討時間を十分に取りたいという町側の考えもございまして、このような本会議日程が不規則になってしまったという現状でございますので、その2点、構造と予算についての説明というふうになるか

と思います。

○委員長（小西秀延君） ほかがございますか。

前田委員。

○委員（前田博之君） 資料3、(2) 町立病院改築事業の実施にあたって、氏家副議長からも話がありましたけれども、これ全員協議会が16日にあつて、26日の本会議で予算を上げるということは、本間事務局長が言われたことが前提で進んでいるのか。16日に、多分津波の関係ですから、場所だとか都市計画のマスタープラン上どのようになるかという、いい意味のケース的な高度な議論が議会から出るかもしれないのです。そのときに、結果的に16日はガス抜きで終わってしまうのか、あるいはそのようなことを想定してきちんとした、今の病院はこうだからこうだと、高いところに移ったらこうだからできないからこうだと、そのようなことをきちんと議会から話があったときに町民にきちんと納得できる説明ができる、病院ができたなら未来永劫ですから、きちんとこのような説明でここに建つたのだと、そのような質問に耐えられるものができて、それが26日の予算に反映するのか。もうありきなのか。16日は聞きっぱなしなのです。多分議員から高度な議論が出ると思います。それに耐えられるだけの議論ができるのかどうかということだけ聞いておきます。16日にそのような意見が出たら、極端な言い方をすれば対応ができなくて予算が27日まで延びるという話もあるのか。もうありきで進んでいるのだから意見は聞くけれどもそれで終わりということになるのか。一議員として話しておきますので、本間事務局長のほうから町側にこのような意見があったということを伝えておいてください。前提にしておかないと16日にそのような議論を踏まえて言わないと意味がないということです。

○委員長（小西秀延君） 本間事務局長。

○事務局長（本間 力君） 定例会6月会議には予算が載らなかったということ。また、津波想定という話ということでいろいろな外的要因も踏まえていたというのはご承知かと思います。特別委員会がすでに終了している中でいきますと、前田委員がお話されたとおりの説明だけできちんとした意見を、そのようなところで要請書の中でも説明の審議、意見調整ということを会議の対応という中で記載されておりますので、そのような認識は町側はあるかというふうに事務局としても押えております。

今回、前田委員のご意見をいただきました。再度、町側での説明と意見反映の仕方というものは、十分に私のほうからも町側に伝えていきたくと思います。

○委員長（小西秀延君） 津波の想定が、一部新聞等でも発表されております。そのような対応をこれから町側が行うということで私のほうでも聞いております。そのような形で皆さんにご説明があろうかと私も認識しております。それに至っては議員各位でいろいろな意見もお持ちでしょうから、その中でまた説明し、議論を展開していくものと理解しておりますのでよろしく願いいたします。

ほかにご意見ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） それでは、全員協議会2件についてはこのような日程でお受けさせていただきます。

4、第5次議会改革の検討について、こちら本間事務局長ご説明をお願いいたします。

○事務局長（本間 力君） 時間も余りかけずに説明していきたいと思っております。

昨年6月以降、中間報告を行った中で令和2年の取り組んできたところの状況を表に簡単にまとめさせていただいております。第1段ということで、おさらいになりますけれども、①自由討議の活発化ということで、試行運用を今年1月からと。②二元代表制の向上ということで、制度理解と基本的事項の再認識という形でご議論されてきたかと捉えております。③期間機能の検証ということで、議会運営基準の改正等々、各条例、基準等の改正を行いながら活発化を図られてきたかという捉えでございます。④議会基本条例につきましては、白老町の自治基本条例を踏まえまして他自治体の先進事例を踏まえながら検討されてきたかというところで、令和2年度を取組、令和3年3月までやってきたというところです。

それから、このコロナ禍にありまして交付金等の活用も踏まえまして、第2段、第3段につきましては、ご確認されているとおりに前倒しをしまして第3段の政策機能の強化を進めてきたところがあります。4月よりタブレット導入の試行運用の協議等を行った中で、前回定例会6月会議におきまして予算のほうを議決させていただいております。現状その期間中で、町内業者経由でメーカーサイドのほうの受注増加傾向がみられるということで、納品の時期については遅れがちだという内容の通知もいただいております。今の試行への検討につきましても、今後年内のいろいろな研修等を行うところではあるのですが、タブレットの納入時期、今のところ最大で12月末というところで押さえてございまして、そのスケジュール如何によりまして進め方を整理させていただきたいというところで、①自由討議の活発化はそのような流れで今後行きたいと考えております。②二元代表制の向上ということで、これは令和4年度の予算も絡むところでございますが、通信環境アプリケーション等の導入検討、それからタブレットの運用条項の策定等も並行して次回以降進めていきたいと考えております。

また、政策機能強化におきましては、⑧政策提言・提案の充実、⑨政策形成過程の充実が、もう一つ検討事項として掲げられております。⑧政策提言・提案の充実につきましては、町民の声、広聴活動の生かし方だと思いますが、⑧政策提言・提案の充実といった部分の取り扱いしくみづくりなどを検討するような流れと捉えておまして、今後そのようなところも資料等を持ちながら進めていきたいと考えております。それから、⑨政策形成過程の充実のほうにつきましては、従前からの予算・執行・決算、それぞれの事前、事後の評価の中で、資料の改善、定期的な点検、議会の関わり方における仕組みなどを今一度充実なり、今後の検討を図っていくような内容でざっくりばらんに議会改革の取組として検討していきたいということで、若干遅れがちではございますが、委員さんの協力をいただきながら次回以降進めていきたいと思っております。

本日は、いろいろご意見等あるかと思いますが、次回以降の進め方を踏まえましてこれまでの取組状況と今後の進め方を事務局のほうからご提案申し上げたところでございます。説明は以上です。

○委員長（小西秀延君） 本間事務局長からご説明をいただきましたが、タブレットの当初の納入時期が9月頃を予定しておりましたが、全児童へのタブレットの配布という件もございまして、納入が遅れる見込みになってきたということでございます。それに従って、私たちも研修したり、タ

プレットの使用方法等勉強しながら進めてまいりたいということであったのですが、若干遅れるかと思えます。並行して、本間事務局長から説明がありましたが、ほかの課題にも取り組んでいくということになりますと、両方進めていかなければならないということではなかなか皆さんには分かりづらいやり方になってしまうのかと思っております。

そこで、進め方について、もしご意見のある方は次回の定例会7月16日までに、このようにしてはどうかというご意見などがございましたら、私か本間事務局長までお伝えしていただければ、参考にさせていただいて進め方を今後決めていきたいと思っております。ちょっと見えにくいやり方になってしまうかもしれませんが、その辺のご理解をお願いしたいと思います。

これに対して質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。

このような進め方でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） それでは、そのように進めさせていただきたいと思えます。

氏家副議長。

○副議長（氏家裕治君） 1点だけ質問します。自由討議の活発化ということで、令和3年1月からということでは、ここの運用の仕方だけは1回やってみないと皆さん分からないと思うので、そこにもっていくまでに一度ちゃんとした形の中で、どのような場面に1回やってみようというものを1回経験してみないと、ここは進まないと思うのです。ここは大事なところだと思うのです。個々の議員の意見は議会の中でどんどん活発に話が出るのですが、それに対して議会全体としてどのように考えているかというのが見えないのです。町民も何も言わないからあれが議会の意見なのだろうという見方ではなくて、もっとよりよい議論というか、活発化させるためには成功するか失敗するかわからないけれど、1回何か一つの例的なもので、このようなことで自由討議をやってみようということをやってみたほうがいいような気がするのです。そうでなければこのまま、「ありませんでしたね。」で終わってしまうような気がするのです。

○委員長（小西秀延君） 本間事務局長。

○事務局長（本間 力君） 試行運用という形の中で、さらに意図的に何かテーマを決めてというところでの、事務局としてもどのような案件かということ氏家副議長が言われる部分で、何か進めなければというところは認識としては捉えていたところなのですが、この試行運用の期間というものが従前から取り決めとしては、仮にこの試行が一定期間、1年間の中で、事例として上げなければ延長ということもあって、その部分は延長ありきではないのですが、長い目で案件を見ながらというところで考えているところでございます。

本会議、委員会ではないのですが、私のイメージ段階で大変申し訳ない言い方になるかもしれませんが、議会改革の一環で昨年6月、同様に政策研究会が立ち上がって設置されております。まだ研究会の座長とも話はしておりませんが、政策研究会の中間報告と提言をまとめる方向も、政策研究会のメンバーですとご承知かと思うのですけれども、一つ方向として上がっておりますので、できればその中で座長、副座長の仕切りの中で、自由討議の位置づけで中間報告のあり方を議員間での討議に持っていくという方向も取組の実績になろうかと思っておりますので、まだまだ検討ではありますがそのようなことも考えながら、事務局としても各率られる委員さんとも含めまして進

めていきたいと考えております。

○委員長（小西秀延君） 氏家副議長。

○副議長（氏家裕治君） 確かに政策研究会、一つの題材としていいのかと思います。もしそれができないまでも何か模擬的な思考というのが、これは議会運営委員会が先頭に立ってやることなのか、議員会でそのような試行的なものをやってみるのも、私はいいのではないかと思います。体感することで、このようなときに、このような発言をしていくと議会全体としてみんながどのように考えているかということがしっかり分かってくる。これは一部の人の意見ではないのだとか、これはこのようにすべきなのだろうという一つの方向性に向かってみんなが考えていけるような、そのようなものにしていかなければいけないのではないかと思うものだから、それが政策研究会のできるのであれば、政策研究会で研究している大事なテーマに、皆さんの意見等も聞いていって、「こうではないか。」「ああではないか。」と、そのことからいい方向性を見出していけるものが、そこから題材を考えながらやっていくのも方法かと思っておりますので、それについてはしっかり考えていっていただきたい。ずるずるいってしまうような気がしたものですから一言だけ言わせていただきました。

○委員長（小西秀延君） 氏家副議長からご意見をいただきました。1月から試行という形でさせていただきます。本間事務局長からもご説明があったとおり、その懸案によってなかなかすぐやろうといっても難しいものもあろうかと思うところも私もございます。

ただ、氏家副議長からご提言のあった模擬的な、試行的なもので政策研究会や、またどのようなもので議会運営員会で催すのか、その辺も私たちも問題として提起いただきましたので考えさせていただいて、政策研究会の座長とも相談しながら、どのような形でできるか私たちでも考えていきたいというところでございます。

前田委員。

○委員（前田博之君） いくつかの議会で実践しているところがあるので、その会議録を取ったほうがいいと思います。案件は何をして、どのような式次第で、結果的に議論になっているのかどうかというのもあるので、その辺の2、3の会議録を取ってもらって皆さんに配布したらイメージがわくと思います。

○委員長（小西秀延君） いくつかの例の会議録は皆さんに資料としてお渡ししたかと思うのですが、ほかに何回かあるとは思うのですが、最近のがまたあるようでしたら追加資料ということでお渡しできればと思います。

本間事務局長。

○事務局長（本間 力君） 以前お配りしていた部分以外の最近のということでよろしいですね。調べまして次回以降配布を検討したいと思います。

補足で、委員長からお話があったとおり、氏家副議長のお話で模擬的な部分の議員会などの、議員会の会長も大淵議員でございますので、政策研究会で行うところがいいのかまたは議員会でという、そこは議員会長とも研修等の考えもあると思いますので、確認させていただいて進めたいと思いますのでよろしく願いいたします。

○委員長（小西秀延君） ほかございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） なければ、5、その他。

本間事務局長、ご説明をお願いいたします。

○事務局長（本間 力君） 5、その他。（1）研修について、①ファシリテーター研修ということで、前回、研修の確認を広報広聴小委員会のほうで進めることにつきましてはご確認いただいたところなのですが、日程が当初予定していた前半の日程が、長谷川議員のほうの研修とぶつかるということもあって、7月28日だったと思うのですが、その日程も小委員会のメンバーのほうで重複もあって仕切り直しをしまして7月19日月曜日13時からということで、取り組みの進め方もありまして、第2会議室で全議員対象で行うという方向で、小委員会のほうで進めさせていただくことになりましたのでお知らせします。全議員ということでございますので極力参加のほう日程調整いただきまして参加よろしくをお願いいたします。

○委員長（小西秀延君） 一応、皆さんへのご案内ということでございますが、こちらについて特に質問ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） 続きまして、（2）次回開催について2点ありますが、本間事務局長ご説明をお願いいたします。

○事務局長（本間 力君） 説明に入る前に、一昨日になりますが、各議員の皆様の方に7月の議会行事予定表をファクスで送らせていただいております。7月14日に白糠町議会の視察対応ということで予定を入れていたのですが、前段議長とのお話もあって、内容のほうが駅周辺の視察ということなので町側の対応ということになりましたので、そのような中で議会としての対応ということではなくなりましたので、白糠町議会が来るということで参考程度に、今回の議会運営委員会のレジユメのほうにも書かれていませんが、そのようなところで整合性を取らせていただきたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

（2）次回開催でございますが、先ほど定例会7月会議の日程に合わせまして、①令和3年7月16日金曜日9時30分から定例会7月会議（第1号）の議案についての内容と、それから、②につきましては同じく日程第2号になりますけれども、7月26日月曜日9時30分からということで、同様に第2号の議案についての議題で会議を開催したいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

○委員長（小西秀延君） （2）で2点、それから行事予定の説明もございましたので、それも含めましてご質問ご意見ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） それでは、その他お持ちの方いらっしゃいますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

### ◎閉会の宣告

○委員長（小西秀延君） 以上を持ちまして議会運営委員会を閉会いたします。

（午前10時30分）